

標記争議ニ附シ前後一以流之記ノ通りニ州之推移注視中

記

一、事業立側

會社側ニ於テハ既報ノ如ク回答内容ヲ全後業員ニ付シ本月七日付ヲ以テ書留郵便ニテ通告セリ

二、争議團側

争議團指導部ニ於テハ會社ノ發表セル工場閉鎖及解雇ハ真意ニ非ス從業員威嚇ノ手段ニテ斯ル姑息ナル方法ニテ争議團ニ挑戦スル時ハ飽ク迄抗争スベシト煽動シ本月十三日迄ニ第二回斗争週間トシテ重役訪問及宣傳ニ主カク注クベシトテ素ル七日迄二時三十分頃團員家族三十五名ハ府下滝ノ川町所在大川平三郎宅ニ押掛ケタルモ不在ノ為メ所轄署ノ諭示キヨリ世事引揚ケタリ

本部ニテハ別添ノ如キアビビラヲ團員各々並工場ノ職工ノ帰途ヲ擁シ配布セリ

三、交渉状況

其後交渉ナシ

四、警察取締

前叙ノ如ク第二回斗争週間后即ケ本月十三日迄ハ執揚ニ訪問及シテ取行スルハキ計畫ニテ及シガ及聲如何ニヨリ直接行動隊編成等密カニ非合法行動ニ出ツマキ形跡アルヲ以テ嚴重警告中ナリ

九月九日東京毎夕新聞第三頁所載ノ「馬化シタ大島製鋼争議」トテ「少少年團出勤不父兄ノ抗争」ト決クマシキ加擔云々ノ記事ハ全世世報ノ事實ニシテ争議團ノ宣傳ニ利用シタルモノト認メラルトニヨリ即時争議團責任者ヲ所轄妙町警察署ニ呼出嚴重加諭シタリ